

施策名：九州の東の玄関口としての拠点化

事業名	担当課・室名	ページ
九州の東の玄関口としての拠点化推進事業	交通政策課	1 / 2
国際航空路線誘致・拡充促進事業	交通政策課	1 / 2
ポートセールス体制強化推進事業	港湾課	1 / 2
港湾整備事業	港湾課	2 / 2
東九州海上物流拠点推進事業	港湾課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-4-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価					
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度						
1	九州の東の玄関口としての拠点化推進事業 (H28～R3) 交通政策課 九州の東の玄関口としての拠点化を推進するため、県内外を結ぶ交通ネットワークの充実を図る。	①ノースライナー及び佐白ライナーの運行による大分空港アクセスの改善 17,968 ②フェリー航路の利用促進に取り組むフェリー事業者への補助 14,830 ③航空会社や近隣空港との連携による国内航空路線の利用促進 11,000	ノースライナー及び佐白ライナーのダイヤ見直し回数 [回]	目標値	18	18	18	フェリー・航空輸送人員 [千人]	目標値	3,730	3,770	3,800	D			
				実績値	20	10	—		実績値	3,523	1,365	—				
				達成率	111.1%	55.6%	—		達成率	94.5%	36.2%	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	フェリー事業者との利用促進に向けた連絡会議の開催回数 [回]	目標値	3	3	3	事業の成果・今後の方針			
				予算	36,643	45,462	41,668	国内航空路線利用促進活動実回数 [回]	実績値	3	4	—	関係機関と連携してフェリー及び航空機の利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりフェリー・航空機ともに利用者数が伸び悩み、目標値を大きく下回った。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況等を注視しつつ、時機を逸することなく、フェリー及び航空機の利用促進に努めていく。			
				決算	35,643	34,495	—	達成率	100.0%	100.0%	—					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度					
2	国際航空路線誘致・拡充促進事業 (R1～) 交通政策課 ソウル路線と上海路線の安定的な運航継続を実現させるため、運航支援及び利用促進対策を行う。また、チャーター便や新規路線の誘致に取り組む。	①新規路線誘致及び路線再開に向けたエアポートセールス等の実施 967	利用促進PRの回数 [回]	目標値	18	18	18	国際線利用者数 [人]	目標値	118,000	140,000	61,000	—		
				実績値	20	0	—		実績値	50,443	—	—			
				達成率	111.1%	0.0%	—		達成率	42.7%	—	—			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	エアポートセールスの回数 [回]	目標値	6	6	6	事業の成果・今後の方針			
			予算	26,271	1,170	86,366		実績値	23	9	—	新型コロナウイルス感染症の拡大による国の入国制限措置により、大分空港においては国際線の運航を行うことができなかった。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況等を注視しつつ、収束を見据え、韓国線の早期再開とともに、中国、台湾、その他アジア地域からの新規就航を働きかけていく。			
			決算	26,188	483	—		達成率	383.3%	150.0%	—				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度					
3	ポートセールス体制強化推進事業 (R2～R4) 港湾課 九州の東の玄関口としての拠点化戦略の推進に向け、大分港（大在地区）をはじめとした県内港の活性化を図るため、官民一体となった推進体制のもとで利用促進・集荷推進対策などのポートセールスを強化する。	①大分県RORO船利用促進助成 9,451 ②大分県RORO船利用促進セミナーの開催 2,390 ③ポートセールス組織の運営 604	企業訪問数 [社]	目標値		100	100	RORO船シャーシ台数 [台]	目標値		34,000	39,000	C		
				実績値		75	—		実績値		27,971	—			
				達成率		75.0%	—		達成率		82.3%	—			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	大分県RORO船利用促進助成件数 [件]	目標値		15	15	事業の成果・今後の方針			
			予算		12,445	15,594		実績値		18	—	企業訪問及び県外・県内セミナー開催により大分県の航路、港湾の周知を行うとともに、トライアル利用助成によりRORO船の利用を拡大し、大分港大在地区へ集荷することが出来たものの、新型コロナウイルスの影響もあり、シャーシ台数が目標値に届かなかった。引き続き、九州東の玄関口としての拠点化戦略の推進に向け、大分港をはじめとした県内港湾の活性化を図るため、官民一体となったポートセールスを実施する。			
			決算		10,213	—		達成率		120.0%	—				
				大分県RORO船利用促進セミナー開催回数 [回]	目標値		7	7							
					実績値		6	—							
				達成率			85.7%	—							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-4-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針										
4	港湾整備事業 (~) 港湾課 フェリーを活用した人流・物流の活性化による産業活動の活性化を図るため、船舶の大型化に対応した係留施設や港湾貨物を取り扱うふ頭用地等を整備する。	重要港湾5港、地方港湾13港 ①(公)重要港湾改修事業 道路整備、岸壁補修等 ②(公)地方港湾改修事業 岸壁整備、物揚場補修等 ③(公)港湾改修統合事業 岸壁補修、防波堤整備、物揚場補修、道路補修等 ④(単)港湾改良事業 泊地浚渫、航路浚渫、防波堤補修、物揚場補修等 ⑤港湾機能施設整備事業 荷役機械補修、ふ頭用地造成等	船舶の大型化に対応した係留施設や港湾貨物を取り扱うふ頭用地等の整備を進めた。今後も、産業活動の活性化を図るため、効率的な港湾整備を行う。 (翌年度繰越額 1,560,935千円)										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施状況</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象港湾施設の整備により、安全性・利便性が確保できる船舶の数（最大係留可能隻数）</td> <td></td> <td>485</td> <td>519</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[隻]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施状況		令和元年度	令和2年度	対象港湾施設の整備により、安全性・利便性が確保できる船舶の数（最大係留可能隻数）		485	519	
	実施状況		令和元年度	令和2年度									
	対象港湾施設の整備により、安全性・利便性が確保できる船舶の数（最大係留可能隻数）		485	519									
	[隻]												
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	3,593,122	3,520,443	4,141,097										
決算	1,709,494	1,947,374	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
5	東九州海上物流拠点推進事業 (H5 ~) 港湾課 本県産業の国際競争力を高めるために重要な産業基盤（海上物流拠点）である大分港大在コンテナターミナルの貨物集荷機能の強化を図る。	①船会社や荷主企業へのポートセールスの実施 15,280 ②大在コンテナターミナルPRのためのセミナーの実施 3,200	ポートセールス延べ訪問数 [社]	目標値	150	150	150	実入りコンテナ貨物取扱量（外貨・内貨計） [TEU]	目標値	39,900	41,200	42,500	B
				実績値	129	69	—		実績値	42,388	39,378	—	
	達成率	86.0%	46.0%	—	達成率	106.2%	95.6%	—					
	ポートセミナー開催回数	目標値	1	2	2	事業の成果・今後の方針							
		実績値	1	1	—	令和2年度の貨物量は、新型コロナウイルス感染症の影響により過去最高を記録した前年度を下回ったものの、これまで積上げてきたポートセールス及び大分港利用転換助成などにより、最小限の減少に抑えられた。							
	達成率	100.0%	50.0%	—	引き続き、成果の上がっている利用転換助成を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、新規航路誘致による荷主の利便性向上や、企業本社が多い都市圏でのポートセミナーの実施等により更なる貨物量増加を図っていく。 ※TEU：20フィートコンテナ1本の単位。40フィート1本は2TEU								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				実績値					
予算	22,680	18,680	17,680	達成率									
決算	22,680	18,680	—										